



阪神・淡路大震災以降の大災害におけるボランティア数

	災 害 名	ボランティア数	備 考
1995年	阪神・淡路大震災 (特定非常災害)	137.7万人	ボランティア元年
2004年	新潟県中越地震 (特定非常災害)	9.5万人	10か所の災害ボランティアセンターを設置、これ以降社協による災害ボランティアセンター設置・運営が定着
2011年	東日本大震災 (特定非常災害)	154.5万人	被災3県を中心に187か所の災害ボランティアセンターを設置
2014年	広島土砂災害	4.3万人	広島市内2か所の災害ボランティアセンターを設置・運営、土砂災害防止法改正のきっかけに
2015年	関東・東北豪雨	5.3万人	関東・東北地方で10か所の災害ボランティアセンター設置・運営
2016年	熊本地震 (特定非常災害)	11.8万人	15か所の災害ボランティアセンターを設置
2018年	平成30年7月豪雨 (特定非常災害)	26.3万人	12府県に60か所の災害ボランティアセンターを設置される
2019年	台風15号、19号による災害 (特定非常災害)	21.6万人	14都県に104か所の災害ボランティアセンターを設置